

☆世界

綿花 価格は下落、中国の在庫積み上げ続く

ICACによると、世界の綿花平均価格（Cotlook A）は10月に下がり続け、月初のポンド当たり93セントから直近で85セントに下落した。

2013/14年第一四半期のCotlook Aは前年同期比10%増の91セントであった。

- 生産

2013/14年の綿花生産は消費を200万トン上回るとの予測を受けて今月のCotlook Aは下落した。更に最近の報告によると綿花主要国の収穫量が当初の予定を大幅に上回るとの予測である。10月から11月にかけて世界の綿花生産見通しは2,550万トンから2,570万トンに上方修正された。2013/14年の綿花生産は、収穫期の好天候によりギリシャ、米国ではイールド、生産量、品質共に向上し、ウズベキスタンの収穫減の懸念を相殺した。ブラジルでは、綿花作付面積が前年から増加して収穫量は前年比22%増の160万トンになる見込み。

- 在庫

2013/14年の世界の期末在庫は、前年比12%増の2,080万トンになる見込み。その内の55%を中国が占める。9月半ばからChina National Cotton Reserves Cooperation（中国綿花備蓄管理公司）は綿花備蓄を開始、10月末に90.32万トンに達した。その内の74%は新疆から調達したもの。これは今季の予定量の51%に相当し、前年同時期の備蓄量と比較すると大幅に少ない。尚、前年同時期の備蓄量は160万トンで予定量の58%であった。

世界の綿花需給見通し

(100万トン)

	2012/13	2013/14	2014/15
生産	26.91	25.73	25.16
消費	23.36	23.68	24.60
輸入	10.03	8.59	7.93
輸出	10.03	8.59	7.93
期末在庫	18.59	20.76	21.32
価格*	88	88	

Cotlook A インデックス（セントポンド）価格は、中国を除く世界の在庫率の見通し、中国の綿花輸入見通し等をもとに推計した。

☆中国

繊維政策

工業情報化部、炭素繊維の発展計画発表

11月7日、中国・工業情報化部は、「炭素繊維業界の発展を加速させる行動計画」を制定した。

同行動計画では、従来の炭素繊維のアップグレード、モデルチェンジによって炭素繊維と同複合材料産業の発展を進め、国民経済や国防工業の発展のニーズを満たすことを目標としている。具体的には、2020年までに、中国の炭素繊維の技術水準や総合競争力を国際水準まで高めることを目標とし、炭素繊維の品種を拡充すること、国際競争力のある大型炭素繊維企業グループを2～3社育成すること、技術開発力が高く産業チェーンが整備された炭素繊維・複合材料工業区を形成することなどが打ち出されている。

☆トルコ

合繊設備

Mogul、スパンボンド不織布の製造開始へ

トルコの不織布メーカーMogul Co. Ltd. はこのほど、芯鞘繊維（芯：ポリエステル／鞘：コポリエステル）のスパンボンド不織布を新たな製造ラインで生産開始した。新設されたラインは幅365センチでこれにより、ポリエステル不織布の生産能力は年産1.5万トンとなる。スパンボンドの他にスパンレースやメルトブローの不織布も製造可能。

新ラインでは、低テニールで三葉状・ラウンド型断面のフィラメントから成るエリアサーマルボンド不織布を製造する予定。このファブリックは17～135g/m²の目付で主に産業資材向けにBuffaloというブランド名で販売される予定。

以上